



スキルアップの夏休みに

学校生活とは、こんなにも子どもたちが関わり合って高め合っていて学んでいたのだと、改めて感じるコロナの中です。夏休みを前にして、また、感染の広がりを見せていて、夏休み明けはどのような状態でスタートするのだろうか…？という不安があります。

学期末のお忙しい中にもかかわらず、先生方より『授業の工夫』の実践をお寄せいただきました。この夏休み中に自分の新しいスキルを身に着けるチャンスとなるものがたくさんあります。「これ、やってみよう！」そんな夏休みのスタートになりますように。



三密を避けながらの授業の工夫

同意見のものは、お名前をつけてありません。

音楽室環境

- 移動時や授業中の密を避けるために、音楽会の練習が始まるまでは教室で授業を行っています。音楽会の練習が始まったら、密に気をつけながら音楽室で行いたいと思います。(両小野小：山口先生)
- 音楽室のスペースを少しでも広く子どもたちが使えるように、音楽室にあった楽器は廊下へ出して(楽器庫がありません)使っています。(箕輪南小：山崎先生)
- 間をあけて、音楽室いっぱい広がり椅子を配置する。この方がよく話を聞ける。自分でじっくり考える。声も出る。と新たな発見で今後も続けます(辰野西小：塩澤先生)
- 音楽室に入る時、出る時に必ず消毒をしています。
- 窓はしっかりと開け、エアコン等で送風しながら、常に換気に気を付ける
- 全員マスク着用のまま授業
- 私はマスケットという透明なマスクを着用して授業をしています。とても歌いやすいです。(辰野西小：塩澤先生)
→私も買いました。とても楽です。けれど、自分の声が跳ね返るため歌声も大きく聞こえます。(伊那北小：森田)



歌唱

- マスクをしながら歌を歌う

器楽

- 短時間、気を付けてやっています。
- リコーダーや鍵盤ハーモニカは6月まで体育館で行っていましたが、7月からは音楽室で広く間隔をあけて行っています。(箕輪西小：堀内先生)
- 1年(鍵盤ハーモニカ)・3年(リコーダー)の導入学年は行っている。人数を半分に減らし練習時間も5分程度。足りない分は家庭学習にして補う。(中川西小：下平先生)
- リコーダーは廊下に一列に並びみんな同じく窓の方を向いて吹いたり、外に出て吹いたりすることもあります。(箕輪南小：山崎先生)

グループ活動他

- 3人程度で、間隔をとって行うように声掛けをする。(中川西小：下平先生)
- ペアで見合ったり教え合ったりする活動はしていません。数人ずつ発表や紙に書いて共有をしていますが、難しいです。(特に低学年)
- 感想発表は「紙に書いて見合う」ようにしています。(中川中：横澤先生)
- 今年度は、教科書に準拠したワークブックを使っていますが、子どもたちにとっては新鮮で、面白く取り組んでいるように思います。(両小野小：山口先生)
- 手をつないだり、手合わせやつながったりする音楽遊びができないので、「3時のおやつ」はまだまだ長いブームが続いています。最後に残った子は、前で進める子・ボンゴ・ウッドブロックなど打楽器担当になり即興的(個人差があります)にリズムパターンを加えます。(伊那北小：森田)



『学習コンテンツ』この授業に使ってみた

- 低学年の授業では、振り付けや踊り付きの曲を多くして(ない場合は作って)100%本気で歌うよりも振りがついたほうが声が出ず飛沫が飛ばないかな?と思っています。(当然ながらマスクは着用したままで歌っています)(箕輪南小：山崎先生)
- NHKfor スクールの 音楽ブラボー



ICT を使ってこんなことができる

- 計画中ですが動画作成ソフトを使って「BGM 効果音付け」の創作をしようと考えています。(中川中：横澤先生)

デジタル教科書

- 6月に辰野町は入りました。本当に授業がしやすくなりました。画面タッチで音が再生され歌詞や写真や楽器の音色まで画像に現れます。教材準備の時間も減り子どもたちの集中力も途切れずいいことだらけです。(辰野西小：塩澤先生)
- リコーダーの学習等とてもわかりやすく授業を行うことができありがたいです。(両小野小：山口先生)

画像

- イメージの共有に iPad や PC を使っています。検索をした画像や写真を撮ったものなどを見せたりしています。(箕輪西小：堀内先生)
- 演奏している様子を録画し、よりよくするために客観的に見ることや姿勢・表情の確認をしています。(箕輪西小：堀内先生)

Google ドライブ

- 鑑賞で扱う曲を入れておき、一人ずつ iPad で聴けるようにしました。イヤホンがないので空き教室などを利用してそれぞれが別の場所で聴きました。自分が止めたいところで止めたり、聴きたいところを繰り返し聴けたりするので便利な機能です。一人ずつ場所を変えたことで他の人の目を気にすることなく体を動かして聴いている子もいました。(長谷小：小山先生)
- 楽譜を見て演奏をすることが苦手な子のために、お手本で私がリコーダーを吹いているところを動画で撮り、それを Google ドライブに入れておきます。分からないところはそれを見て確認をしたり動画と一緒に吹いてみたりしていました。(長谷小：小山先生)

ロイロノート

- ネットで紹介されていたものやってみました。(参照：6年鑑賞__タブレットを使った「木星」の鑑賞)
楽曲を主題ごとの8つに分割しておいて、それぞれをロイロノートに貼り付けておきます。そして一番有名な主題を引き立たせるためには、どのように並び替えたらいいいのかを考えさせました。どうしてそのような並び方にしたのか、その根拠がなかなか出てこなかったため、ただのお遊びにな

ってしまったような気もしますが、子どもたちは楽しかったようで、木星に出てくるメロディーを口ずさんで帰っていく子や『惑星』のほかの曲も聴いてみたい!』と言ってくる子が何人かいて嬉しかったです。(長谷小：小山先生)

YouTube

○鑑賞の授業で活用していますが、より子どもたちの意識が高まるのでよいかと思いました。(両小野小：山口先生)

○公式ミュージックビデオがたくさんあるので、中学3年生「Smoke on the Water」(Deep purple)の授業で「ポップスのリフ (riff) 探し」をしました。(中川中：横澤先生)

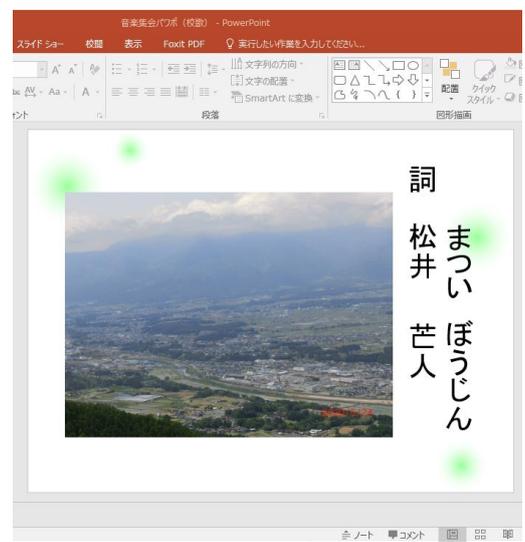
Zoom

○Zoom を使って全校音楽を行ってみました。体育館のステージに発表学年が並び、その他の学年は教室で参加しました。やってみてわかったことですが、どうしても音声に遅延が生じてしまうので、体育館以外の教室は基本ミュートに設定することが大切だと思いました。他の学年の音声は聞けないのですが、映像によって一緒に歌っている雰囲気をつかむことができました。感想を言うときなどは、該当学年のみミュートを外すといった作業が必要になってきました。Wi-Fi 環境が整っていれば、ZOOM で十分音楽も配信できることがわかりました。ヤマハの SYNCROOM というアプリを使うと、ZOOM よりも遅延が少ないということで、今導入を検討していますが、有線環境が推奨されていたり、映像は ZOOM に頼る必要があったりと、使用にあたっては難しいところも多いので、いろいろ試してみたいと思っています。



(両小野小：山口先生)

○全校音楽に使用しました。体育館に集まることはできないので各教室で行いました。PowerPoint を共有します。校歌では文献を参考に作詞者が眺めたであろう風景を撮影し紹介をしました。音楽集会の曲の歌詞は、曲に合わせてスライドするように自動設定をしました。【参照：教育音楽5月号 授業で使えるパワポスライド】歌詞が出ますし教室でも使っていただこうと思いましたが、先生方は、CDの方が使いやすいみたいです。(伊那北小：森田)



お体に気を付けて、充実した夏休みをお過ごしください